



せんみょう じ
泉明寺みずほ 議員

女性の会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

■将来にわたる持続可能な生活エリアの充実■本市の公教育

6月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



DX化の更なる推進について 子ども政策について

【質問】 職員の退職、都市間の奪い合いがある中、国や県から降りてくる仕事は増加の一方だと聞く。作業的な仕事はAIを活用し、職員は人間でなければできない仕事に注力すべき。近年、決裁についても電子化が進んでおり、導入する市町も出てきているが熱海市はどうか。

とした改善としては生成AI等、先行事例を調査中。

【要望】 限られた人的資源をどこに重点配分するかという行政経営の視点が重要である。DXによって生まれた時間を市民サービス向上につなげて。

【質問】 子どもに関する部署が課になつていない市は県内で熱海市だけ。少子化対策に本気で取り組むためにも室から課に上げるか市の中核である企画部門で扱うべきでは。

【答弁】 窓口を訪れる市民の利便性の向上のため「書かない窓口」の実現に向けたシステムの導入を予定。市役所業務の効率化を目的

【答弁】 組織機構、所

掌事務の最適化のための見直し作業を進めている。

【質問】 単なる事務分掌の整理ではなく少子化対策・教育・保育・外国籍児童支援を統合的に扱う機能を持った部署の設置は検討されるか。

【答弁】 見直し作業の中で、ご提案の点も含め検討していく。

【要望】 子育て世代にとって相談先や支援の流れが見えやすく、行政内部でも顔の見える連携が図られる事を求める。

コンビニトイレの一部利用不可について 難聴・補聴器と認知症について



たかい かずゆき
高井一幸 議員

日本共産党

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会
(副委員長)

その他の質問項目

■路線バス利用困難地域住民の足の確保■来宮駅へのエレベーター設置

6月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



【質問】 近頃、市内コンビニトイレの一部が使えなくなっている。住民の暮らしや観光客の側から見れば、地域社会の利便性の向上とは真逆な方向に変わっていくように見える。このまま放置することは、社会的責任の放棄を認めてしまうことになると思うが、市の対応を問う。

【答弁】 まちなかの回遊性や市民生活の利便性の観点から、トイレ環境の確保は重要な課題である。高齢者や障がい者、観光客にとってトイレ環境は外出・回遊の重要な要素であり、コンビニ等の民間施設の善意によるトイレの開放はその役割の一端を担ってきた。市としてはトイレ情報の提供充実を図り、民間事業者側

との協力のあり方を検討していく。

【質問】 補聴器助成制度は広く市民に喜ばれている。そこで難聴と認知症の関係性を調べたところ、国際的にも厚労省の調査でも認知症の危険因子として難聴が強く関わっていることが示されており、認知症予防策として難聴対策が強化されてきたことが分かる。市民健診にはフレイル健診があるが、聴覚検査や※サルコペニア検査の追加も求める。

【答弁】 市民健診については熱海市医師会を通じて業務を担っていただいており、ほとんどの医療機関で検査機器等の整備状況で検査が叶わないことが想定されるため、現時点では要望として承る。